

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市長居障がい者スポーツセンター・大阪市舞洲障がい者スポーツセンター
施設所管課・担当	福祉局障がい者施策部障がい福祉課（担当：高橋・長井）
条例上の設置目的	障がい者に対し、スポーツ及びレクリエーション活動の機会を提供するとともに、障がい者のスポーツに関する講習会等を開催することにより、障がい者の自立と社会参加を促進し、もって障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする。
業務の概要	（１）障がい者スポーツセンターの運営業務 ア 障がい者に対する各種スポーツ及びレクリエーション活動の機会の提供 イ 障がい者のスポーツに関する各種講習会の開催その他障がい者のスポーツの指導 ウ 障がい者のスポーツの振興を担う人材の育成 エ 障がい者のスポーツに関する普及啓発等 （２）建物及び付属設備の維持保全に関すること （３）その他障がい者スポーツセンターの管理に関すること
成果指標	利用者満足度／新規利用者数
数値目標	80％以上／600人以上
指定管理者名	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	新規利用者数
数値目標	80％以上	600人以上
年度実績	93%	900人
達成率	116.3%	150.0%

利用状況

（１）大阪市長居障がい者スポーツセンター

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	251,181人	235,816人	107%

（２）大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

ア スポーツ施設

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	135,215人	138,669人	98%

イ 宿泊研修施設

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,172人	15,332人	112%
稼働率	48.4%	37.6%	129%

3 収支状況

（単位：円）

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因	
受託事業収入		実績	654,574,554	653,762,510	△ 1,630,446	
		計画	656,205,000	657,346,000		
	業務代行料収入	実績	650,990,000	649,740,000	0	
		計画	650,990,000	649,740,000		
	自主事業収入	実績	3,285,194	3,726,310	△ 1,233,806	国から受託しているナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点機能強化事業の委託料の減（スタッフ謝礼金及び施設使用料の減によるもの）
		計画	4,519,000	7,118,000		
	その他の収入	実績	299,360	296,200	△ 396,640	大会及び教室参加料収入の減
		計画	696,000	488,000		
経常経費寄附収入		実績	243,710	388,070	243,710	
		計画	0	0		
その他の収入		実績	53,413,280	43,150,951	10,085,280	
		計画	43,328,000	42,498,000		
	受入研修費収入	実績	217,984	195,000	117,984	実習受入による謝礼金収入の増
		計画	100,000	10,000		
	雑収入	実績	178,651	210,329	56,651	
		計画	122,000	12,000		
	宿泊研修室利用料金収入	実績	48,456,169	37,943,494	10,236,169	大阪・関西万博の開催期間中の宿泊研修室利用増による利用料金収入の増
		計画	38,220,000	37,757,000		
	自主事業収入	実績	4,560,476	4,802,128	△ 325,524	自動販売機売上等の減
		計画	4,886,000	4,719,000		
拠点繰入金収入		実績	190,000	190,000	0	
		計画	190,000	190,000		
合計		実績	708,421,544	697,491,531	8,698,544	
		計画	699,723,000	700,034,000		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費支出	実績	310,193,958	318,044,296	△ 13,667,564	
	計画	323,861,522	316,337,000		
	スポーツ施設部門	実績	287,560,800	△ 17,132,200	職員の育休取得、人事異動及び途中退職等による減
		計画	304,693,000		
	宿泊研修室部門	実績	22,633,158	3,464,636	宿泊研修室の利用増による増
		計画	19,168,522		
事業費支出	実績	134,184,765	143,438,008	△ 10,659,964	
	計画	144,844,729	137,308,000		
	スポーツ施設部門	実績	128,159,599	△ 7,553,401	備品購入費の増とプール閉室に伴う光熱水費の減
		計画	135,713,000		
	宿泊研修室部門	実績	4,990,072	△ 453,318	プール閉室に伴う按分負担光熱水費の減
		計画	5,443,390		
	自主事業部門	実績	1,035,094	△ 2,653,245	ロッカー更新延期による備品購入費の減
		計画	3,688,339		
事務費支出	実績	237,717,113	225,979,542	30,605,960	
	計画	207,111,153	222,495,000		
	スポーツ施設部門	実績	211,226,061	23,323,061	修繕費の増とプール閉室に伴う光熱水費の減
		計画	187,903,000		
	宿泊研修室部門	実績	21,081,943	7,477,458	事務消耗品購入の増、修繕費の増、消費税納付額の増
		計画	13,604,485		
	自主事業部門	実績	5,409,109	△ 194,559	国から受託しているナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点機能強化事業のスタッフ謝礼金の減及び施設使用料の減等
		計画	5,603,668		
拠点繰入金支出	実績	23,802,354	23,768,915	△ 28,646	
	計画	23,831,000	23,854,000		
	スポーツ施設部門	実績	23,700,800	23,653,760	9,800
		計画	23,691,000		
	自主事業部門	実績	101,554	△ 38,446	
		計画	140,000		
予備費	実績	0	0	△ 74,596	
	計画	74,596	40,000		
合計	実績	705,898,190	711,230,761	6,175,190	
	計画	699,723,000	700,034,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	116.3%	A	利用者サービス向上に努め、目標を上回る満足度となったことから、左記の評価とする。
新規利用者数	150.0%	S	情報発信の強化に努め、目標を大幅に上回る新規利用者数となったことから、左記の評価とする。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
ペーパーレス化の推進、資源ごみの有償回収、空き缶・ペットボトルの無償回収依頼の実施、利用団体のごみの持ち帰りの協力依頼、照明設備のLED化等を行った。	B	-

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	-
事業計画の実施状況	A	・様々な利用者のニーズに対して、柔軟に対応するなどサービス向上に取り組んでおり、その結果満足度も高い。 ・これまでのスポーツ教室や文化・交流事業の実施に加え、デジタル教室、プログラミングのイベントなど新たな分野のイベントを開催するなどの工夫が見られた。
施設の有効利用	B	-
社会的責任・市の施策との整合性	B	-

令和7年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

(1) 調査方法
施設利用者に対して、アンケート調査を実施（用紙回答又はWEB回答）
(2) 回答者数 547人
長居障がい者スポーツセンター：368人
舞洲障がい者スポーツセンター：179人
(3) 質問項目
ア 基本属性（障がいの有無、種別、年代、居住地等）
イ 障がい者スポーツセンターの利用状況等
ウ 障がい者スポーツセンターに対する評価等
エ 自由意見
(4) 結果
・ 障がい者スポーツセンターを利用するきっかけについて、広報（スポーツセンターだより、ホームページ、SNS）による割合が、長居で36.4％、舞洲で44.2％と、一定数いるという結果であり、様々なツールによる広報活動の効果が見られた。
・ 障がい者スポーツセンターを利用してよかったこととして、生活にリズムができた、身体の調子が良くなった、体力がアップした、行動範囲が広がった、ストレスが減った、運動が好きになった、友人が増えたなど、利用者により様々であり、後述の施設の満足度が高い状況を踏まえると、指定管理者は施設の設置目的の達成のため、利用者のサービス向上に努めている。
・ センターのサービスに関する満足度（長居94％・舞洲92％）は非常に高く、これは、専門性の高い指導員を配置し、障がいの種別やニーズに応じたスポーツ指導をはじめ、各種教室や事業などに取り組んだ成果であり、また、センター職員の接遇の評価が高い（接遇に対する項目の回答がいずれも9割程度である）ことも要因であると考えられる。
・ その他、利用者からは、館内の混雑状況を発信してほしい、教室等の申込みをオンラインで行えるようにしてほしい、といった意見があった。引き続き、利用者のニーズを把握しながら改善を図り、サービスの向上に努める必要がある。

6 外部専門家意見

・利用者数の増加、アンケート調査からみられる利用者満足度の高さは、高く評価できる。また、人件費、光熱水費等が上昇しているなか、収支均衡が図られている点も評価できる。
・利用者数について、コロナ禍の時期に大幅に減少し、そこから年々増加傾向にあるものの、コロナ禍前の水準まで戻っていない状況である。当該水準に戻るには時間がかかるかもしれないが、引き続き利用者の増加にむけた取組を継続してほしい。
・舞洲障がい者スポーツセンターの宿泊研修施設の稼働率は、48.4％と前年比で10.8％上昇している。これは、大阪・関西万博の開催時期に宿泊者数が増加したこと起因するものであるが、継続的に稼働率の向上が図られるよう、旅行代理店の活用を拡大することを検討するなど、利用の促進のための取組に努めてほしい。
・アンケート調査は、障がいの種別ごとにクロス集計するなど、分析方法を工夫すれば、現在の利用者の動向をより深く把握し、利用者の増加に繋げられると思われるので、検討してほしい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	利用者サービス向上・新規利用者獲得に努め、目標を上回る成果を得ている。
市費の縮減	B	ペーパーレス化の推進など、適正な市費の削減に努めている。
管理運営の履行状況	B+	施設の適切な管理運営及び利用者サービスの向上に関する取組に努めている。特に、施設内で数多くの教室を開催し、施設外でも出張スポーツ・レクリエーション事業を実施していること、新たな分野のイベントを開催に取り組んでいること、障がい者スポーツ振興を担う人材育成に取り組んでいることなど、多方面からさまざまなサービスの提供に取り組んでいる点について評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	概ね事業計画が達成できており、総合的に評価できる。
総合評価		